

令和8年2月期 決算説明資料

岡谷鋼機株式会社

令和8年3月31日

1. 連結経営成績
2. 連結財政状態
3. 連結キャッシュ・フローの状況
4. 連結業績予想
5. 株主還元
6. 設備投資
7. トピックス

1. 連結経営成績

- ・連結売上高は前期比340億円増の1兆1,557億円
- ・純利益は前期比34億円増の305億円

単位：億円

	令和7年2月期	令和8年2月期	前期比増減（増減率）
売上高	11,217	11,557	+340(+3.0%)
売上総利益	932	1,059	+127(+13.6%)
販売費及び一般管理費	558	654	+96(+17.2%)
営業利益	373	404	+30(+8.3%)
経常利益	419	454	+35(+8.5%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	270	305	+34(+12.7%)
1株当たり 当期純利益	1,406.86円	1,585.46円	+178.60円
期末人員	6,477名	6,536名	+59名

※1 単位未満を切捨てて表示しており、増減額が一致しないことがあります。

※2 当社は、令和6年9月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。
これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

連結子会社数	78社	78社	—
持分法適用会社数	22社	22社	—

1. 連結経営成績

■ 上期 ■ 下期

単位：億円



※1 令和5年2月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用しております。

※2 単位未満を切捨てて表示しており、合計額が一致しないことがあります。

1. 連結経営成績<セグメント別>

- <鉄鋼> 鉄鋼は建材関連が低調。特殊鋼は産機・建機、海外は欧米向けが減少。
- <情報・電機> エレクトロニクスは情報インフラ関連及び車載部品、非鉄金属は環境配慮型材料が増加。
- <産業資材> メカトロは国内の自動車関連及び航空機向け部材が増加。化成品は堅調。
- <生活産業> 配管建設は令和6年8月より連結対象とした配管機器事業会社の影響もあり増加。食品は水産・畜産物が増加。

鉄鋼 (鉄鋼、特殊鋼)

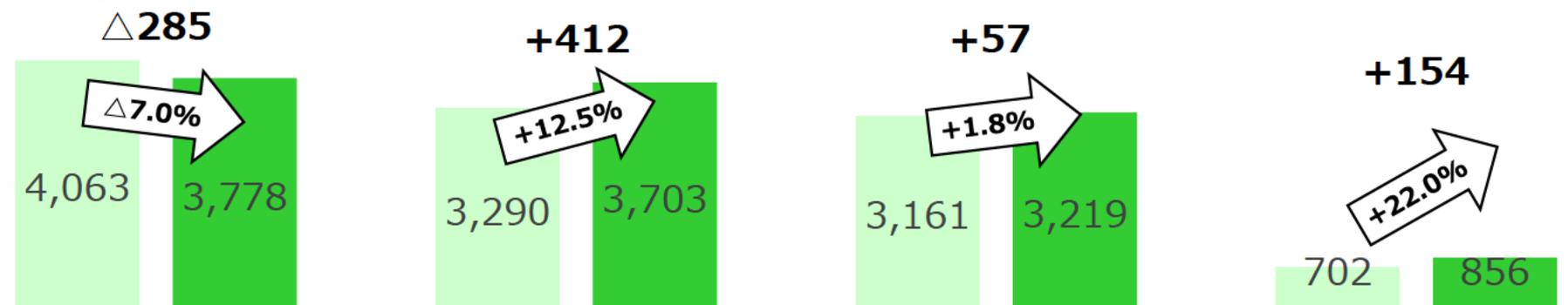
情報・電機 (エレクトロニクス、非鉄金属)

産業資材 (メカトロ、化成品)

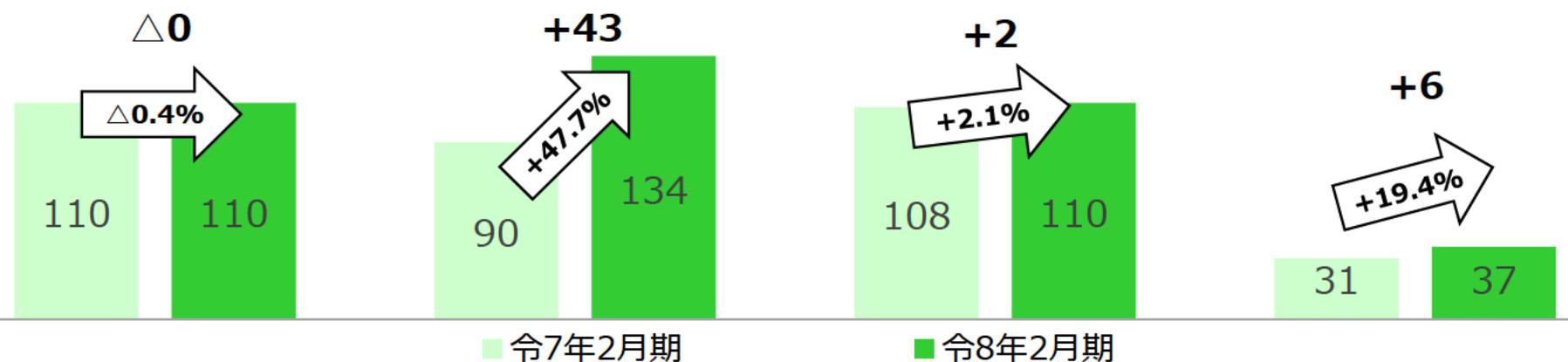
生活産業 (配管建設、食品)

(単位：億円)

<売上高>



<営業利益>



■ 令7年2月期

■ 令8年2月期

1. 連結経営成績<売上高内訳>

- ・アジア向け及び輸入取引が増加し、海外取引比率は1.2ポイント増の36.2%
- ・向け地別では国内・アジア向けが増加

単位：億円

取引形態別		令和7年2月期		令和8年2月期		前期比増減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
取引形態別	国内取引	7,292	65.0%	7,369	63.8%	+76	+1.0%
	海外取引（*）	3,925	35.0%	4,188	36.2%	+263	+6.7%
	合計	11,217	100.0%	11,557	100.0%	+340	+3.0%
向け地別	国内向け	8,072	72.0%	8,236	71.3%	+163	+2.0%
	アジア向け （中国除く）	1,314	11.7%	1,460	12.6%	+145	+11.1%
	中国向け	630	5.6%	666	5.8%	+35	+5.7%
	欧米他向け	1,199	10.7%	1,194	10.3%	△4	△0.4%
	合計	11,217	100.0%	11,557	100.0%	+340	+3.0%

※単位未満を切捨てて表示しており、増減額が一致しないことがあります。

*海外取引＝海外売上高に輸入品売上高を加えたもの

2. 連結財政状態

- ・当期末の総資産は前期末比1,399億円増の1兆11億円
- ・自己資本比率は5.1ポイント増の49.6%

単位：億円

	令和7年2月末	令和8年2月末	前期比増減
総 資 産	8,611	10,011	+1,399
(流 動 資 産)	5,080	5,219	+138
(有 形 固 定 資 産)	784	805	+21
(投 資 有 価 証 券)	2,207	3,219	+1,012
(そ の 他 の 固 定 資 産)	539	766	+227
負 債	4,585	4,834	+249
(流 動 負 債)	3,490	3,389	△100
(固 定 負 債)	1,094	1,444	+350
純 資 産	4,026	5,176	+1,150
自 己 資 本 比 率	44.5%	49.6%	+5.1%
有 利 子 負 債	1,916	1,613	△303

※単位未満を切捨てて表示しており、増減額が一致しないことがあります。

3. 連結キャッシュ・フローの状況

- ・営業CFは、利益計上や仕入債務の増加等により、479億円の収入超過
- ・投資CFは、設備投資の増加等により、93億円の支出超過
- ・財務CFは、借入金の返済等により、360億円の支出超過

単位：億円

	令和7年2月期	令和8年2月期	前期比増減
営業活動による キャッシュ・フロー	44	479	+435
投資活動による キャッシュ・フロー	△377	△93	+283
財務活動による キャッシュ・フロー	313	△360	△673

現金及び現金同等物 の期末残高	148	182	+34
--------------------	-----	-----	-----

※単位未満を切捨てて表示しており、増減額が一致しないことがあります。

4. 連結業績予想

地政学リスクや各国の関税政策等の影響に加え、労務費・物流費等のコスト上昇が見込まれる中、業績予想は下記の通りとしております

単位：億円

	令和8年2月期 実績	令和9年2月期 予想	前期比増減	
			増減	増減率
売上高	11,557	11,500	△57	△0.5%
営業利益	404	350	△54	△13.5%
経常利益	454	400	△54	△12.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	305	280	△25	△8.2%
1株当たり当期純利益	1,585.46円	1,455.20円	△130.26円	△8.2%

※令和8年6月1日を効力発生日として、普通株式1株を2株とする株式分割の実施を予定しております。
株式分割後の令和9年2月期予想の1株当たり当期純利益は、727.60円となります。

5. 株主還元

- ・当社は、株主に対する利益還元を企業経営の重要政策の一つと考えており、競争力を維持・強化して株主資本の充実に努めつつ、配当を行うことを基本方針としています
- ・より投資しやすい環境を整えるため、令和8年6月1日付で普通株式1株を2株とする株式分割を予定しております。株主優待制度は、株式分割後も優待基準を変更せず、拡充を図っております

□配当予想

単位：円

	令和5年2月期 実績	令和6年2月期 実績	令和7年2月期 実績	令和8年2月期 実績	令和9年2月期 予想
第2四半期末	60.0	62.5	67.5	75.0	(43.0)
期末	62.5	67.5	75.0	86.0	(43.0)
年間配当	122.5	130.0	142.5	161.0	(86.0)

※ 令和6年9月1日付株式分割を考慮し、令和5年2月期に遡り調整のうえ記載しております。

※ 令和8年6月1日付株式分割を反映しない場合の令和9年2月期の配当予想は第2四半期末86.0円、期末86.0円、年間配当は172.0円であります。

□株主優待（一般株主様向け優待）

優待内容	保有株式数（分割後）	権利確定日	発送時期
愛知県産米 山の幻ミネアサヒ 5Kg	100株以上	2月末	4月下旬
	400株以上	8月末	10月下旬

□株主優待（長期保有株主様向け優待）

優待内容	保有株式数（分割後）	権利確定日	発送時期
図書カード 2,000円相当	200株以上	2月末	4月下旬
		8月末	10月下旬

※ 一般株主様向け優待に加え、半期毎(2月末及び8月末)に発行される最終株主名簿に、同一株主番号で連続6回以上記載されていることを条件として贈呈いたします。発送は通常の株主優待とは別送となります。

6. 設備投資

- ・令和8年2月期はシステム関連や事務所設備、工場設備等を中心に103億円の設備投資を実施
- ・令和9年2月期は前年から続くシステム関連や事務所設備に加え、物流倉庫等により152億円を計画

単位：百万円

	令和8年2月期 (実績)	令和9年2月期 (予定)
設備投資額	10,370	15,200
	<主な内容>	<主な内容>
	物流倉庫 増改築等 498	物流倉庫 増改築等 2,400
	賃貸用資産 設備 334	賃貸用資産 設備 700
	事務所設備等 1,767	事務所設備等 2,300
	工場設備 (海外) 1,021	工場設備 (海外) 1,500
	工場設備 (国内) 1,647	工場設備 (国内) 2,300
	金型 956	金型 400
	システム関連 3,547	システム関連 4,400
	その他 600	その他 1,200
減価償却費	6,427	6,740

7. トピックス

年月	内容
令和7年 3月	<p><u>義援金寄付</u></p> <p>グループ会社である東北岡谷鋼機株式会社とともに、岩手県大船渡市で発生した令和7年2月の林野火災による被災者に対し、義援金を寄付いたしました。</p>
3月	<p><u>大阪・関西万博オランダパビリオンへ協賛</u></p> <p>2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）において、オランダパビリオンのテーマである「コモングラウンド（共創の礎）」ならびにパビリオンの設計者であるトーマス・ラウ氏が提唱する「サーキュラーエコノミー」に賛同し、シルバースポンサーとして協賛いたしました。</p>
7月	<p><u>チャリティーコンサートの開催</u></p> <p>13回目となる「OKAYAチャリティーコンサート 2025 ～感謝の夕べ～」を開催しました。チケット売上金とマッチングギフト、来場者からの募金を合わせ、約380万円を愛知県共同募金会へ寄付いたしました。</p>
7月	<p><u>北関東地区での新倉庫建設を決定</u></p> <p>商品の集約や効率的な配送の構築への取り組みとして、埼玉県越谷市での新倉庫建設を決定いたしました。お客様にとってより利便性が高く、効率的な物流体制の構築に取り組んでまいります。</p>

7. トピックス

年月	内容
9月	<p><u>株式会社マップフォーの株式を一部取得</u></p> <p>自動運転システム開発、中でもAIを活用した高精度な3次元地図作成技術や環境認識ソリューションを提供している株式会社マップフォーの株式を一部取得しました。自動運転分野における技術開発および事業展開を加速させてまいります。</p>
11月	<p><u>北海道苫小牧市における系統用蓄電所の建設開始</u></p> <p>当社と東京ガス株式会社が共同で出資する苫小牧パワーストレージ合同会社は、北海道苫小牧市において、系統用蓄電所「苫小牧パワーストレージステーション」の建設を開始しました。再生可能エネルギー普及拡大に貢献するべく、2028年以降での商業運転開始を目指しています。</p>
12月	<p><u>愛知・名古屋2026大会（アジア競技大会・アジアパラ競技大会）におけるパートナーシップ契約を締結</u></p> <p>公益財団法人愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会との間で、「第20回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）」および「第5回アジアパラ競技大会（2026/愛知・名古屋）」におけるパートナーシップ契約を締結しました。オフィシャルサプライヤーとして協賛し、すべてのアスリートを応援します。</p>
令和8年 2月	<p><u>ヒューマノイドロボットの展示場を開設</u></p> <p>愛知県名古屋市にヒューマノイドロボットの展示場を開設しました。生産現場の課題解決が期待されているヒューマノイドロボットについて、実機をご覧ください。お客様の課題や用途に応じて、導入段階から実際の運用までご提案いたします。</p>

ものづくりに貢献する
グローバル最適調達パートナー
岡谷鋼機株式会社

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する予測は、現時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢および、当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、実際の業績等は様々な要因により変更される可能性があります。当社は新しい情報、将来の出来事に基づきこれらの将来予測を更新する義務を負うものではありません。